

2016年6月23日

2016年度研究報告大会、無事終了

大会実行委員会

2016年5月28日（土）～29日（日）、日本大学商学部砧キャンパスで開催された2016年度環境経営学会研究報告大会は、無事終了しました。

併せて開催された、第16回総会も会員のご賛同を得て、議案のすべてを承認いただき、2016年度の事業計画及び予算が無事スタートを切りました。

関係の皆様のご尽力に深甚なる謝意を表します。

1. 公開シンポジウム（入場無料）では、後藤会長、山本特別顧問、村井実行委員長の挨拶のあと、次の2件の基調講演が行われました。

基調講演1 テーマ：「グリーン金融の最新動向」、講師：末吉竹二郎氏

（グリーンファイナンス推進機構代表理事）

基調講演2 テーマ：「トヨタ環境チャレンジ2050」講師：嶋村高士氏

（トヨタ自動車（株）環境部 コミュニケーション室担当部長）

時宜にかなった貴重な講演とあって、多くの聴衆を集めました。

2. 個別研究発表は13件、事例報告は1件、シンポジウムは6件、複数の会場に分かれて行われ、多彩なテーマで優れた発表や報告と活発な意見交換が展開されました。

3. 表彰式では、個別研究発表の最優秀賞及び優秀賞、並びに学会賞の表彰が行われた。

個別研究発表の最優秀賞には、

田代邦幸会員（法政大学大学院公共政策研究科）の「企業のレジリエンス定量評価に関する研究」が選ばれました。

また、優秀賞には、

- ① 足立伸也会員（日本生産性本部経営開発部）の「インド農村に資するソーシャルビジネスのサステイナブル経営～ドリシュティ社の事例から～」

- ② 望月裕太会員（横浜市立大学大学院都市社会文化研究科）の「オーケストレーションにおける半自立的統治—ネットワークの集合作用と定量評価に関する研究—」

の2件が選ばれ、後藤会長から表彰状が授与されました。

学会賞については次の2件の表彰が行われました。

「学術貢献賞」：金原達夫会員（広島修道大学）及び村上一真会員（滋賀県立大学）による「学術選書63 環境経営のグローバル展開」（2015年）白桃書房

「実践貢献賞」：樋口一清（法政大学）、白井信雄（法政大学）新見友紀子（NTTデータ経営研究所）「サステイナブル地域論」（2015年）中央経済社

—以上—